

## スマイルアスリート 松野 真奈美さん

オリンピック・パラリンピック  
出場経験者よりスポーツへの情  
熱と皆様への熱いメッセージを  
お届けします。



「ひの まなみ」さん  
ボブスレー競技で、2006年トリノ、  
2010年バンクーバー五輪に出場。

### ボブスレーとの出会いから現在まで

私は、帯広市出身で、小中学校はスピードスケート、高校と短大は陸上に打ち込みました。短大2年目の19歳の時に、選手の発掘体力テストを受けたことがきっかけで、ボブスレーに出会い競技を本格的に始めました。2006年トリノ五輪、2010年バンクーバー五輪に出場しました。

現在は、選手時代から所属している帯広市の北斗病院に所属しながら、選手の育成や、全国の小中学校の子どもたちへ、夢を持つ大切さを伝える授業などをしています。

### 宿泊地が雪で孤立のハプニング…!

トリノ五輪のプレ大会のときに、大雪の日が続き、道路が使えなくなり、山奥にあった私たちの宿泊先が孤立したことがあります。もちろんボブスレーの練習も大会も中止になりましたが、ものすごい雪でその宿泊先から何日も動くことができませんでした。同じ宿泊先には、海外の選手も多く泊まっていたのですが、だんだん食堂の食料がなくなっていくときは、みんなが持っているいろいろな国の食べ物に分け合って食べたり、停電になったときは、ローソクを持ち寄って広い部屋に集まったり、助け合って数日間を過ごした経験があります。

普段は他国のライバルですが、「協力をする」「相手を思いやる気持ち」「お互いさまの気持ち」を彼らから学びました。もう同じ体験はしたくないですが、今では貴重な大切な思い出の一つです。

### 励ましの言葉が力に

アメリカで行われた世界選手権で、転倒してしまい、膝に穴が空く大怪我をしました。救急車が来るまで、大会ボランティアの方がずっと私の横に寄り添って「大丈夫だよ」と声を掛け続けてくれました。不安な気持ちの私でしたが、本当に心強かったです。一生忘れません。

どんな大会でも、競技役員やボランティアの方(支える人)、応援をしてくれる観客(観る人)がいてくれるお陰で、私たちは競技に集中して全力で試合に臨むことができます。笑顔で「頑張ってるね」「いい日にしてね」と声を掛けられることが、いつもとてもうれしかったです。

### 〈質問〉リラックス方法について教えて下さい。

ボブスレーは、恐怖心という自分自身の心と戦うことが求められる競技のため、常に緊張していることが多く、試合直前に疲れすぎて自分の力を全部発揮できないことがあります。練習が終わって宿泊先に帰ってからも、競技のことをずっと考えている時間が多くて、本当に必要な場面でのいい集中ができないこともありました。ある時、コーチに「オンとオフがあるからこそ、試合前のいい集中ができるんだよ。メリハリをしっかりとつけなさい」とアドバイスももらい、コーチとも競技会場での日の反省、次の日の課題など、不安な部分は全て競技会場で話をするように変えました。だんだん心に余裕が生まれ、時々散歩しながらカフェに行ったり、コーヒーを飲む時間を持つようになりました。大事な場面でもより深い集中ができるようになったかな、と思います。



### 「クイズ」アスリートからの挑戦状

Q ボブスレーは年齢制限があり18歳にならないとできない。○か×か。

(回答はウラ面)





### 「SDGsウォーク2018」ボランティアの 「ご協力ありがとうございました！」

8月4日(土)、よしもと主催の「SDGsウォーク」でボランティア12名にご協力をいただきました。本イベントでは、国連が掲げる持続可能な開発目標「SDGs」を一般の方にも、より知ってもらおうと、よしもとのお笑い芸人やアスリートをゲストに夏の北海道を楽しく歩いてSDGsを学ぶウォーキングイベントです。

参加者の皆さんも、スマサポのサポートのお陰で楽しく無事にイベントを終えることができました。主催者からも感謝の声が届いています。皆さんお疲れ様でした！



### 北海道最大級フルマラソン 「北海道マラソン2018」でスマサポ大活躍！

【活動写真】

2018年8月24日(金)〜26日(日)に、のべ1000人を超えるスマサポの皆さんに「北海道マラソン2018」のボランティアにご協力いただきました。本大会では、給水や沿道サポーターのボランティアのほか、多言語、手話対応のボランティアでも活躍いただきました。

北海道のビッグスポーツイベントのひとつの北海道マラソン。ランナーとボランティアの夏の思い出となりました。

皆さんお疲れ様でした。今後も様々なスポーツイベントをご紹介する予定なのでたくさんのお応募お待ちしております！

### 大会ボランティアプログラム「NO-SIDE」とは？

#### ラグビーW杯2019 大会チケット情報

ラグビーW杯2019の  
最新情報をチェック！

第一次一般販売(抽選)は  
9月19日(水)から

↓チケット購入はこちらから！



「NO-SIDE」が生まれました。ラグビーW杯まで、いよいよ一年となりました。みなさんもラグビーW杯をボランティアとして大会を支え盛り上げましょう！

今大会では、ボランティアは、大会を成り立たせるための重要な力ギとなり、大会の顔でもあります。そのため、日本のラグビーが育んだ「NO-SIDE精神」とともに、世界中の観戦客をおもてなしたい、ということからボランティア「TEAM NO-SIDE」が生まれました。

みなさん、ラグビーW杯2019日本大会公式ボランティアの名称「TEAM NO-SIDE(チームノーサイド)」に込められた意味についてご存知でしょうか。

「NO-SIDE」とは、ラグビー用語で試合終了を意味します。単に、ゲームセットを意味するのではなく、試合が終わればサイドが無い、敵味方なしという意味で相互理解、相互尊重の精神のシンボルであると言えます。



### 「TEAM NO-SIDE」に

込められた意味に迫る！

## スマ・サポ インフォメーション

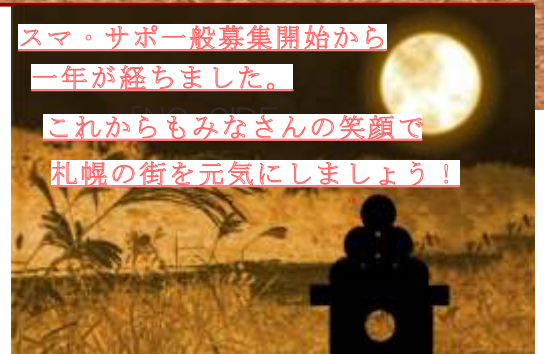
### ★今後のスマ・サポ活動予定★

- 北海道コンサドーレ札幌2018シーズン運営ボランティア 9月以降も随時募集
- 日本スポーツマスターズ2018(募集終了) 9月14日(金)~18日(火)
- 秋のつりまつり2018(募集終了) 9月17日(月)
- マジ×かるアートフルマラソン(募集終了) 10月6日(土)、7日(日)
- 札幌マラソン(募集終了) 10月7日(日)
- ラグビーW杯2019(募集終了) 2019年9月

詳しい情報はSGSCのHPから！  
<http://www.sapporosports.org/volunteers/>

スマ・サポ一般募集開始から  
一年が経ちました。

これからもみなさんの笑顔で  
札幌の街を元気にしましょう！



※少人数または急遽のボランティア要請の場合、メール配信のみのご案内もありますので、ご了承ください。募集詳細はHP上またはメールでお知らせいたします！

クイズのこたえ: ○ 大会は基本的に18歳以上の選手が出場できます！